



2004年度第5回 J I A 環境建築賞受賞記念講演会

受賞作品を語る

講師：住宅部門入賞受賞者

中村享一 Kyoichi Nakamura / 中村享一設計室 有限会社

日時：2005年2月26日(土) P M 1:00 ~ 4:00

開場・受付 P M 1:00 ~ 1:30

講演会 P M 1:35 ~ 2:00 ビデオ総評(林昭男・野沢正光)

P M 2:00 ~ 3:30 「受賞作品を語る」講師 / 中村享一

P M 3:30 ~ 3:50 質疑・応答

会場：徳島県文化の森 2 1 世紀館イベントホール 1 F

徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園内 TEL : 088-668-1111

入場無料!! (定員150名、申込不要・先着順)



主催：(社)日本建築家協会 四国支部

愛媛県松山市岩崎町二丁目4-39 TEL&FAX : 089-933-7545

(社)徳島県建築士会

徳島県徳島市富田浜二丁目10

TEL : 088-653-7570 FAX : 088-624-1710

問合せ先：(社)日本建築家協会 四国支部 徳島地域会

徳島県徳島市佐古三番町6-17-403

TEL : 088-602-1236 FAX : 088-602-1237

第5回 J I A 環境建築賞

総評 審査委員長 林昭男

第5回JIA環境建築賞の行方は、過去4回の経緯をへて、今回その真価が問われる節目にあたるように私には思われた。環境建築とは何かと問われて、適切な回答を求めることが難しい状況の中で、応募する側も審査する側も戸惑いながら関わっているのが現状である。少なくとも、私はそのように感じている。今回の応募数は、一般建築部門13作品、住宅部門5作品であり、ほぼ前回と同じであった。これまでもそうであったが、応募作品の傾向は多様であり、環境建築への応募者の問題意識の所在を見極めることが、まず審査員に課せられた。はじめに書類選考によって篩にかけられたが、その網から落ちた作品の中にも環境建築としての主張に傾聴すべきものがあった。しかし鮮明な主張が剥き出しで、消化不良を起こしているような作品もあった。

現地審査をへて、一般部門では、「国立国会図書館関西館」、「NEC玉川ルネッサンスシティ()」、「CO2：常陸太田市総合福祉会館」の3作品が優秀賞に選ばれ、住宅部門では「宮崎台『桜坂』」が優秀賞となった。優秀賞となった一般建築部門の3つの作品は、全く傾向の異なる作品であるが、環境建築の具備すべき要件に応えて、建築としての完成度も高い。「宮崎台『桜坂』」は集住環境としての微気候のデザインという観点が今日の課題への取り組みとして評価された。今回、最優秀賞を欠いたことについては、説明を必要とするかもしれない。一般建築部門の3つの作品はすでに大きな賞(日本建築学会賞、地球環境大賞、環境・省エネルギー建築賞、環境大臣賞など)を得て、その評価は高い。にもかかわらず、JIAでは、という問いかけである。実は、このあたりにJIA環境建築賞の目指す目標とこだわりがあるように私には思われる。確かに「関西館」は緊張感にあふれる建築であり、訪れる人を圧倒する。自然採光、景観への配慮、ゼロエミッションなど成果を認めながらも、24時間空調という書庫の管理方式に起因すると思われる運用エネルギーの大きさへの配慮があっただけであった。「NEC」について言えば、NECの企業コンセプトを忠実に建築化している。徹底した省エネ化、ゼロエミッションへの配慮、建設を通して設計、施工の関係者、職人やその家族にいたる人たちまで巻き込んだエコロジカルな意識の高揚への試みなどは注目されたが、床面積の大部分を占める作業空間で働く人たちがへ更に細やかな配慮が欲しかった。「CO2」はユニークな建築である。地元の丸太137本を使って支持するテントで覆われたギャラリーは、中庭への開放感が気持ちよく、お年寄りに喜ばれている。これら3つの作品は図書館、事務所、福祉施設と機能、規模、設計と件が異なり、優劣を論じても意味がない。JIA環境建築賞は、低環境負荷でありながら、持続可能な未来へのメッセージを強く発信するものであって欲しい。

JIA環境建築賞も発足以来5年を経て、ようやくその輪郭が明確となってきたように思う

<E7 - project> 住宅部門・入賞

設計者：中村享一 中村享一設計室(有)

建築主：中村享一

施工者：中村享一CM室

建築家

中村 享一 Kyoichi Nakamura

profile

1969年 長崎県立長崎北高等学校卒業

1974年 長崎総合科学大学建築学科卒業

1974-79年 白石建設勤務

1979-82年 都市企画設計コンサルタント勤務

1982年 中村建築設計室設立

1990-98年 日本建築家協会九州支部役員

1996年 長崎総合科学大学非常勤講師

1996-99年 国際建築家連合(U I A)、未来の建築委員会(A O F)委員

1998-02年 九州産業大学非常勤講師

2000-01年 建築再生デザイン会議副議長

2001- 年 福岡建設専門学校教授

資格・受賞

一級建築士

国際住居年記念コンクール優秀賞/長崎県1987年

オープンデザインコンペ[都市の解体と再構築]銅賞/日本建築家協会1991年

環境問題公募論文入選&提案発表/国際建築家連合(U I A) Barcelona大会1996年

J C Dデザイン賞2003優秀賞/日本商環境設計家協会2003年

グッドデザイン賞/日本産業振興会2003年 長崎都市景観賞/長崎県2003年

第5回JIA環境建築賞住宅部門入賞/日本建築家協会(JIA) 2004年

